

広島史学研究会 平成 18 年度大会

考古部会発表 プログラム

9 : 30	開 場		
10 : 00	あいさつ	広島大学	古瀬 清秀
10 : 10~10 : 40	トンガ坊城遺跡の発掘調査	(財)広島市文化財団文化財課	楮木 敬太
10 : 40~11 : 10	東広島市御土居遺跡の発掘調査	(財)東広島市教育文化振興事業団	吉野 健司
11 : 10~11 : 30	休 憩		
11 : 30~12 : 00	「中世の港町・尾道」の構造と変遷—近年の発掘調査成果から—	尾道市企画部世界遺産推進課	西井 亨
12 : 00~13 : 00	昼 休 憩		
13 : 00~13 : 30	広島県重要文化財磨崖和霊石地蔵の保存について	三原市教育委員会	時元 省二
13 : 30~14 : 00	権現第 1 ~ 3 号古墳の発掘調査	(財)広島県教育事業団埋蔵文化財調査室	梅本 健治
14 : 00~14 : 30	近世後期における伝世鏡の考古学的観察	尾道大学 八幡 浩二・広島大学	脇山 佳奈
14 : 30~14 : 50	休 憩		
14 : 50~15 : 20	広島大学帝釈峡遺跡群平成 18 年度発掘調査の成果について	広島大学 下元 優・古瀬 清秀・岩崎 佳奈・野島 永	
15 : 20~15 : 50	弥生時代鑄造鉄斧破片の流通について	広島大学	加藤 徹
15 : 50~16 : 20	弥生時代のガラス玉の流通について	広島大学	荒平 悠
16 : 20~16 : 50	異常気象と考古学	広島大学	谷岡 能史
17 : 00	閉 場		